

## 臨床検体使用に関するお知らせ

### 『 研究課題 痔核結紮切除術に対する術式と手術成績に関する後方視的検討 』

#### 【研究の背景および目的】

痔核（いわゆるイボ痔）は、頻度の多い一般的な外科疾患です。

日本で痔核を代表とする肛門疾患の手術は肛門専門病院もしくは開業の肛門科医が施行することが多いのが現状です。

その結果大学病院をはじめとする総合病院で痔核の手術を施行できる病院が少なくなります。

東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科数少ない痔核手術を施行できる総合病院です。

これにより合併症が多くリスクの高い患者さんが紹介されてくるが多くなります。

そこで従来の痔核手術より確実に合併症の少ない従来法を基としてアレンジした術式の開発が必要とされました。

東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科では、過去に行ってきた痔核手術の再発率や合併症などを検討し最適な術式を開発することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、患者さんにより確実に合併症の少ない治療を提供することにつながります。

#### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです

2008年4月から2021年9月に東邦大学医療センター大森病院一般・消化器外科において痔核の手術を受けた症例を対象とします。

診療録（カルテ）から抽出した情報を解析することにより調査します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することはありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡ください。

#### 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院

一般・消化器外科

職位・氏名 講師・栗原 聰元

電話 03-3762-4151 内線6530